

製品概要
Dシリーズ ピープルカウントネットワークカメラ
IP-P300PC-AI2



- ※1. 仕様についての詳細は、弊社の当製品情報ページに掲載している仕様書を参照ください。
- ※2. 運用にあたっては、弊社の当製品情報ページに掲載している「設置要件・設定マニュアル（技術資料）」を参照ください。
- ※3. カメラのシステムバージョンおよび、アプリのバージョンにより機能差異が生じる可能性があります。
- ※4. 弊社Webサイト：<https://n-sk.jp/>

- 01 ●————● **製品概要**
- 02 ●————● **AIルール（代表的なルール紹介）**
- 03 ●————● **設置環境要件・検出有効範囲**
- 04 ●————● **設定フロー・グローバル設定機能**

01



製品概要

02



AIルール (代表的なルール紹介)

03



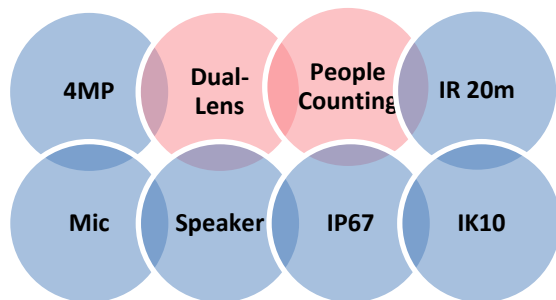
設置環境要件・検出有効範囲

04



設定フロー・グローバル設定機能

製品概要



《特徴》

- 4MP 可視光レンズ
- AI人数カウント機能搭載
- ライン通過・エリア内人数・待ち行列を計測
- 人数カウントレポート出力対応
- マイク&スピーカー内蔵
- IR最大照射距離：20m
- IP67、IK10
- 音声入出力、アラーム入出力、PoE、DC12V



■主な仕様

カメラ	イメージセンサー	1/2.8 型 CMOS
	最大解像度	最大：2560 × 1440
	最低照度	0.005 lux@F1.6 (カラー)、0.0005 lux@F1.6 (白黒)、0 lux (IR オン)
	IR 照射距離	最大：20 m
レンズ	レンズ	2.8 mm@F1.6
	画角	水平：95°、垂直：52°、対角：114°
ビデオ	圧縮方式	H.265、H.264、H.264H、H.264B、MJPEG (サブストリームのみ対応)
	ストリーム能力	3 ストリーム
	メインストリーム	2560 × 1440 (1 ~ 25/30fps)
	ビットレート制御	CBR、VBR
AI	IVS	侵入検知、トリップワイヤー、高速移動 (3つの機能は人・車両の分類および検知に対応)、放置物検知、紛失物検知、滞留検知、群衆検知、駐車検知
	顔検知	顔検知、顔検出、スナップショット、顔 ROI、顔属性の抽出、顔の切り抜き 他

AI	人数カウント	<ul style="list-style-type: none"> ・トリップワイヤーによる人数カウントに対応し、レポートの生成およびエクスポートに対応 (日 / 週 / 月 / 年) ・エリア内人数カウントおよび待ち行列管理に対応し、レポートの生成およびエクスポートに対応 (日 / 週 / 月)
	インターフェース	イーサネット
オーディオ	オーディオ	RJ-45 (10/100/1000 Base-T) × 1
	アラーム	内蔵マイク、内蔵スピーカー、入力 × 2 (RCA)、出力 × 1 (RCA)
ネットワーク	プロトコル	入力 × 2、出力 × 2
ストレージ	SD・ネットワーク	IPv4、IPv6、HTTP、RTP、RTSP、RTCP、RTMP、P2P 他
相互接続性	ONVIF・API	microSD カード (最大 512GB)、FTP、SFTP、NAS
一般	電源供給	ONVIF (プロファイル：S/G/T)、CGI
	消費電力	PoE (IEEE 802.3af)、DC12V
	動作環境	基本：6.4W、最大：12.9W ※PoE
	保護等級	-40℃ ~ +60℃ / 95% 以下 (RH) ※結露なし
	外形寸法・重量	IP67、IK10
	同梱品	寸法：204.0mm × 78.0mm × 61.6mm、重量：820g
		取付ビス&プラスチックアンカー × 1 セット、1/4 インチネジ対応 取付ベース、取付位置決めシール、防滴コネクタ (非防水) トルクスレンチ (T15)、保証書

01



製品概要

02



AIルール（代表的なルール紹介）

03



設置環境要件・検出有効範囲

04



設定フロー・グローバル設定機能

メイン機能の概要 | 人数カウント

- **AIによる人数カウント・混雑状況の可視化**：人物の入場・退場人数や指定エリア内の人数・滞在状況を自動で計測し、施設の利用状況や混雑傾向を把握できます。

① ライン通過人数カウント



＜出入口を通過した人数を方向別に計測＞



検出方法 映像上に指定ラインを設定

計測内容 入場人数／退場人数

設定項目 検出エリア・通過方向（A→B／B→A）

活用シーン

店舗や商業施設の出入口に設置し、来店者数や入退場の傾向を把握できます。



店舗の出入口
来店者数の把握



商業施設
出入口ごとの通行人数の分析



イベント会場
入場者数・退場者数の把握

② エリア内人数カウント



＜指定エリア内の人数や滞在状況を把握＞



検出方法 映像上に検出エリアを設定

計測内容 エリア内人数・滞在状況

設定項目 対象エリア・人数や滞在時間の条件

活用シーン

売場や待合室などの指定エリアにおける人数や滞在状況を把握し、混雑状況の分析に活用できます。



売場
混雑状況の把握



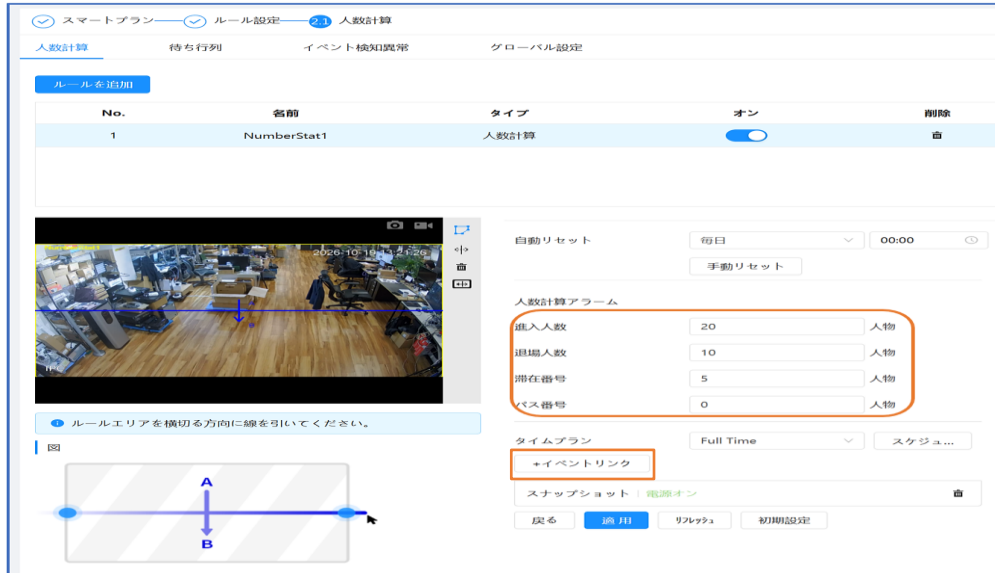
待合室
利用状況の分析



飲食店
客席の混雑状況の把握

①ライン通過人数カウント | 機能詳細

- **入場・退場を方向別に自動集計**：検出エリア内の指定したライン移動方向に応じて人数を計測します。設定条件を満たした場合にイベント連動を実行します。



スマートプラン → ルール設定 → 人数計算

人数計算 | 待ち行列 | イベント検知異常 | グローバル設定

ルールを追加

No.	名前	タイプ	オン	削除
1	NumberStat1	人数計算	☒	音

自動リセット: 毎日 00:00

人数計算アラーム

進入人数	20	人物
退場人数	10	人物
滞在番号	5	人物
パス番号	0	人物

タイムプラン: Full Time

+ イベントリンク

スナップショット: 電源オン

戻る 適用 リセット 初期設定

ルールエリアを横切る方向に線を引いてください。

図



人数計算アラーム

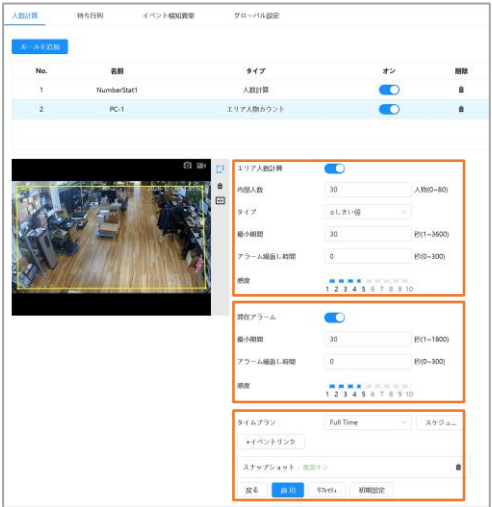
設定項目	内容
進入人数	A→B方向の通過人数が設定値を超えるとアラーム
退場人数	B→A方向の通過人数が設定値を超えるとアラーム
滞在番号	進入人数と退場人数の差が設定値を超えるとアラーム
パス番号	指定したライン外のエリアの通過人数が設定値を超えるとアラーム
自動リセット	指定した日時にカウント数を自動リセット（初期値：0時）

イベントリンク

設定項目	内容
録画	録画を開始
電子メールを送信	指定した宛先へメール通知を送信
スナップショット	静止画像を撮影
アラーム出力ポート	カメラのアラーム出力ポートから外部機器へ接点信号を出力
音声リンク	カメラ内蔵のスピーカーから警告音を再生(任意のアラーム音登録可)
送信コマンド	指定したサーバーへHTTPコマンドを送信



- **指定エリア内の人数・滞在時間を計測**：検出エリアを設定し、エリア内の人数と人物の滞在時間を計測します。設定条件を満たした場合にイベント連動を実行します。
※エリア内人数カウントでは、人が密集する環境で人物同士が重なり、検出対象が遮られる影響を抑えるため、**真下方向の監視（撮影角度：90°）を推奨**します。



エリア人数計算

検出エリア内の人数が設定した人数条件を満たした場合にアラーム。

設定項目	内容	設定範囲
内部人数	アラーム判定の基準人数を設定します。	0～80人
タイプ	人数の判定条件を選択します。	全6種類 (※下表参照)
最小期間	設定した人数の状態が何秒間続くとアラームが発報するかを設定します。	1～3600秒
繰返し時間	アラームの再通知間隔を設定します。	0～300秒
感度	人数検出の感度を設定します。	1～10

タイプ別の判定条件

タイプでは、エリア内の人数が設定したしきい値に対して、どのような条件になった場合にアラームを判定するかを選択します。

設定項目	内容
≤ しきい値	設定した人数以下
≥ しきい値	設定した人数以上
= しきい値	設定した人数と等しい
≠ しきい値	設定した人数と異なる
しきい値A未満 または しきい値B以上	A未満またはB以上
しきい値A以上かつしきい値B未満	A以上かつB未満

滞在アラーム

検出エリア内の人物が設定時間以上滞在した場合にアラーム。

設定項目	内容	設定範囲
最小期間	人物が検出エリア内に何秒間滞在するとアラームが発報するかを設定します。	1～1800秒
アラーム繰返し時間	アラームの再通知間隔を設定します。	0～300秒
感度	滞在検出の感度を設定します。	1～10

※「エリア人数計算」と「滞在アラーム」はそれぞれ独立して判定され、両方を有効にした場合は、いずれかの条件を満たした時点で、該当するアラームが発報します（OR条件）。

レポートの種類・確認できるデータ

人数カウント機能の計測結果を、用途に応じてグラフで確認・出力できます。

レポート種類

① ライン通過人数カウント



出入口を通過した人数を集計

- 進入人数・退場人数
- 時間帯別／日別の人数推移
- 来店・退店傾向の把握

活用例：店舗・商業施設の出入口

② エリア内人数カウント



指定エリアの利用状況を集計

- 指定エリア内の人数データ
- 滞在時間に関する集計
- エリア内の利用・滞在傾向の分析

活用例：売場・待合室

レポートの表示・出力形式

<表示形式>

棒グラフ／折れ線グラフ

<出力形式>

PNG（グラフ画像）／
CSV（Excelなどで集計・分析可能）

<データ検索範囲>

ライン通過人数：最大12か月
エリア内人数：最大1か月

<データ保存期間>

最大1年間（カメラ内部メモリ）
SDカード不要

レポート・データ出力 | カメラ

- **Webブラウザからレポートを確認・出力：** カメラのWeb管理画面で人数カウントの集計結果をグラフ表示し、PNG形式またはCSV形式で出力できます。

レポート検索・グラフ表示



ルール 統計タイプ

今日 今週 今月 今年 *検索範囲は12か月を超えることはできません。

レポート ☒ NumberStat1



検索条件と出力

① レポートを検索

ホーム画面 [レポート] > [ルール]より対象となるものを選択 > [検索範囲]設定 > 対象レポートにチェック入れ [検索] します。

② グラフ表示を切替

棒グラフ / 折れ線グラフ を切り替え、進入・退場などの表示項目を選択できます。



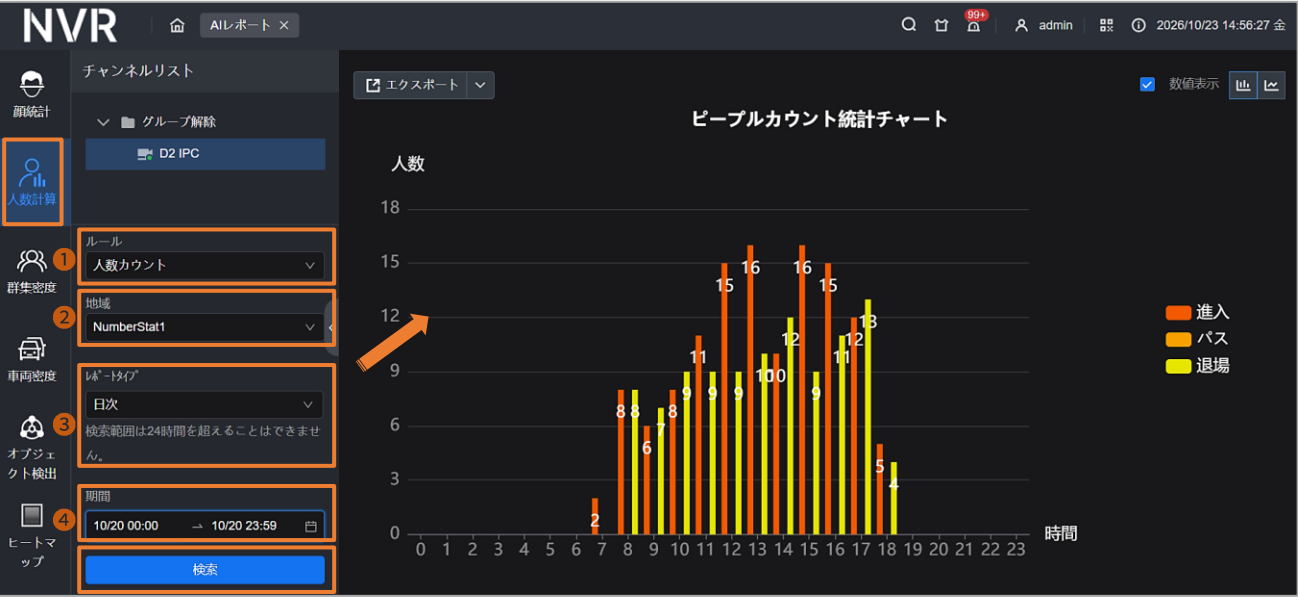
③ データを出力

グラフ右上で出力形式 [PNGまたはCSV] > [エクスポート] でレポートを出力できます。
PNG形式は資料への掲載、CSV形式はExcelなどでのデータ集計・分析に適しています。

- **NVRでの人数カウントレポート確認**：対応カメラに保存された人数カウントデータをNVRから取得し、集計結果をグラフで確認・出力できます。

レポート検索・グラフ表示

ホーム画面 [AIレポート] > [人数計算] > [対象カメラ・ルール]選択 > [レポートタイプ・検索期間]などを設定 > [検索] > グラフ表示。



① ルール	確認する人数カウントの種類を選択します。(人数カウント/エリア人数カウント)
② 地域	レポートを確認する対象ルール(検出エリア)を選択します。
③ レポートタイプ	集計結果の表示単位を選択します。(日次/月次/年次)
④ 期間	レポートを確認する開始日時と終了日時を指定します。

グラフ・出力イメージ

[エクスポート] > PNGまたはCSVでデータ出力可能。

csv.エクスポート

チャンネル	開始時刻	進入人数	バス番号	退場人数
D2	2026/10/6 0:00	41	0	35
D2	2026/10/7 0:00	89	0	70
D2	2026/10/8 0:00	85	0	76
D2	2026/10/9 0:00	73	0	71
D2	2026/10/10 0:00	0	0	14
D2	2026/10/11 0:00	0	0	39
D2	2026/10/12 0:00	0	0	14
D2	2026/10/13 0:00	119	0	113
D2	2026/10/14 0:00	95	0	72
D2	2026/10/15 0:00	70	0	51
D2	2026/10/16 0:00	90	0	77
D2	2026/10/17 0:00	0	0	0
D2	2026/10/18 0:00	0	0	0
D2	2026/10/19 0:00	114	10	132
D2	2026/10/20 0:00	124	0	101

NVR | 対応確認リスト

NVR型番	レポート対応可否
IPN-D2104P	×
IPN-D4204P	○
IPN-D5208P	○
IPN-D5216P	○
IPN-D5832	○
IPN-AI5864-H8	○
IPN-D6128	○

01



製品概要

02



AIルール (代表的なルール紹介)

03



設置環境要件・検出有効範囲

04



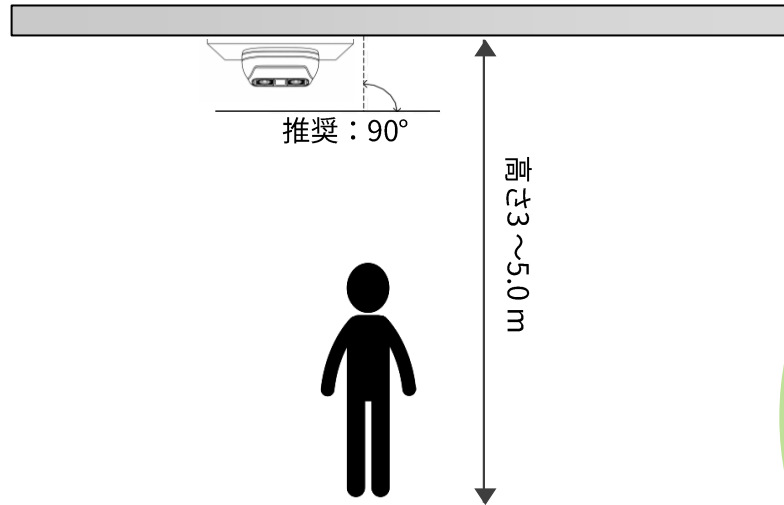
設定フロー・グローバル設定機能

設置環境要件（推奨設置シーン）

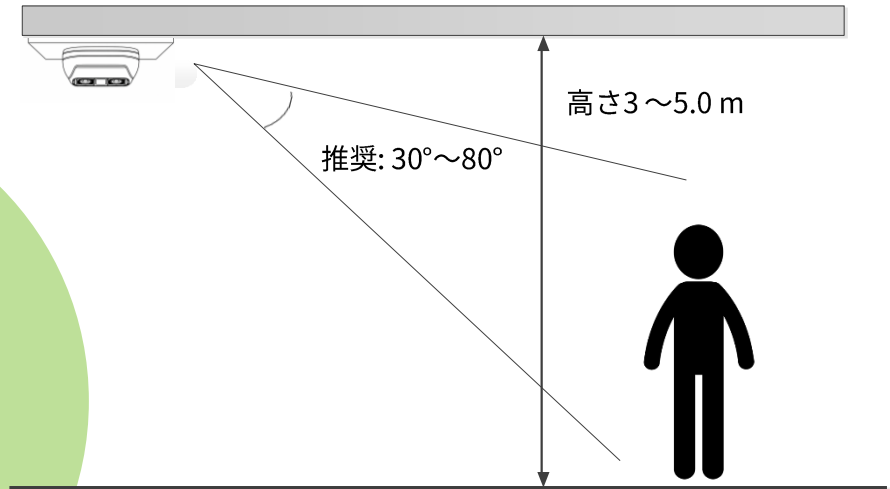
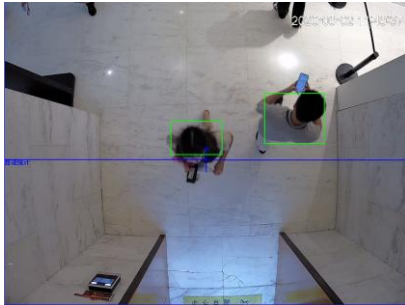
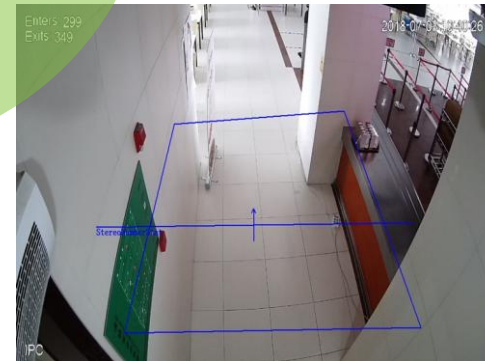
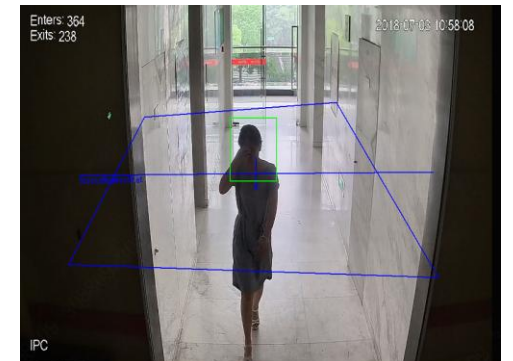
No.	項目	要件	備考
1	照度	撮影範囲内の人物が明瞭に映り、頭部や肩が確認できる十分な明るさを確保してください。十分な明るさを確保できない場合は、補助照明などを使用してください。	照度が不足すると、AI検出性能が低下する場合があります。
2	設置環境	障害物による遮蔽、頻繁な明るさの変化、逆光、強い直射光が発生する環境は避けてください。	人物の頭部や肩が他の人物や障害物によって隠れない環境を推奨します。
3	設置高さ	推奨設置高さ： 〔最低 3.0～最高 5.0m〕	実際の設置環境に応じて調整してください。撮影対象がAIアルゴリズムによる検出に必要なピクセル条件を満たす必要があります。
4	設置角度	真下方向の監視(垂直角)： 90° 斜め下方向の監視(傾斜角)： 30°～80°	原則として、撮影角度が大きいほど人物を検出しやすくなります。映像が水平になるよう調整してください。
5	人物の通行方向	人物の移動方向ができるだけ一定となる場所への設置を推奨します。	人物が複雑に移動したり、検出エリア内で頻繁に方向転換したりする環境では、カウント精度に影響する場合があります。

設置環境要件（推奨設置シーン）

真下方向の監視イメージ（垂直角）



斜め下方向の監視イメージ（傾斜角）



設置環境要件（非推奨設置シーン）

以下のようなシーンでは、人数カウントの検出性能に影響する可能性があるため、設置を避けてください。

- カメラの設置位置が高すぎる環境
- 高所から人物を見下ろす環境



人数カウントの検出有効範囲

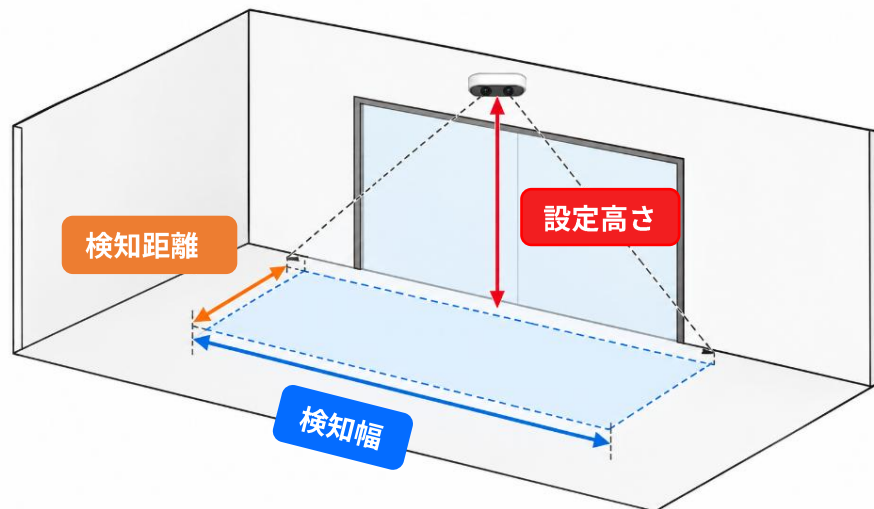
真下方向の監視（撮影角度：90°）の場合、検出有効範囲は長方形になります。

斜め下方向の監視（撮影角度：30°～80°）の場合、検出有効範囲は台形になります。

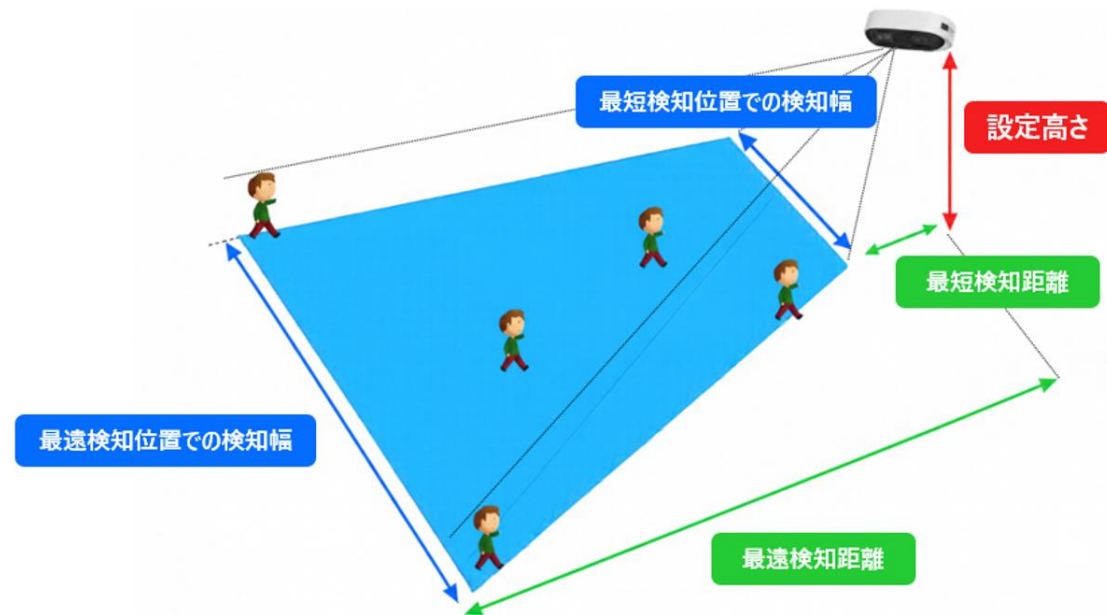
斜め下方向の監視では、カメラに近い側の最小検出距離は人物の足元まで映像内に収まる位置を基準とし、カメラから遠い側の最大検出距離は人物の頭部が映像内に収まる位置を基準とします。

※また、人物の全身が映像内に収まり、有効に検出できる範囲となるように設定してください。

真下方向の監視イメージ（垂直角）



斜め下方向の監視イメージ（傾斜角）



人数カウントの検知・検出有効範囲(参考値データ)

真下方向の監視（垂直角）：設置角度90°
(対象人物：肩の高さ1.5m、肩幅0.375m)

焦点距離 (mm)	設置角度 (°)	設置高さ (m)	水平方向の 検知幅 (m)	垂直方向の 検知距離(m)
2.8mm	90°	3	2.38	1.34
		3.5	3.13	1.76
		4	3.85	2.16
		4.5	4.55	2.56
		5	5.22	2.94
		5.5	5.87	3.3
		6	6.5	3.66



本資料に記載の数値は参考値であり、実運用時の検出精度を保証するものではありません。
人数カウントの精度を安定させるため、設置環境に応じたキャリブレーションを実施し、
適切な検出エリアを設定してください。
人物の重なり、遮蔽物、逆光、照度不足などにより、誤検出やカウント漏れが発生する場合があります。

人数カウントの判定条件

- ① 設置高さ・角度が適切に設定されていること
- ② 人物が正しく検出されていること
- ③ 検出エリアが適切に設定されていること
- ④ 設定した人数カウントルールの条件を満たしていること

斜め下方向の監視（傾斜角）：設置角度30°/60°
(対象人物：肩の高さ1.5m、肩幅0.375m)

焦点距離 (mm)	設置角度 (°)	設置高さ (m)	最短検知 距離(m)	最短検知 位置での検 知幅(m)	最遠検知 距離(m)	最遠検知 位置での 検知幅 (m)
2.8mm	30°	3	1.16	2.74	8.17	12
		3.5	1.59	3.57	8.35	12
		4	2.04	4.35	8.53	12
		4.5	2.5	5.09	8.71	12
		5	2.99	5.78	8.98	12
		5.5	3.5	6.4	9.1	12
		6	3.94	7.22	8.86	12
2.8mm	60°	3	0.16	2.4	2.08	4.04
		3.5	0.22	3.04	2.64	5.07
		4	0.29	3.65	3.19	6.04
		4.5	0.35	4.25	3.72	6.97
		5	0.43	4.83	4.24	7.85
		5.5	0.59	5.92	5.24	9.48
		6	0.68	6.44	5.72	10.22

※エリア内人数カウントでは、人が密集する環境で人物同士が重なり、
検出対象が遮られる影響を抑えるため、真下方向の監視（撮影角度：90°）を推奨します。

01



製品概要

02



AIルール（代表的なルール紹介）

03

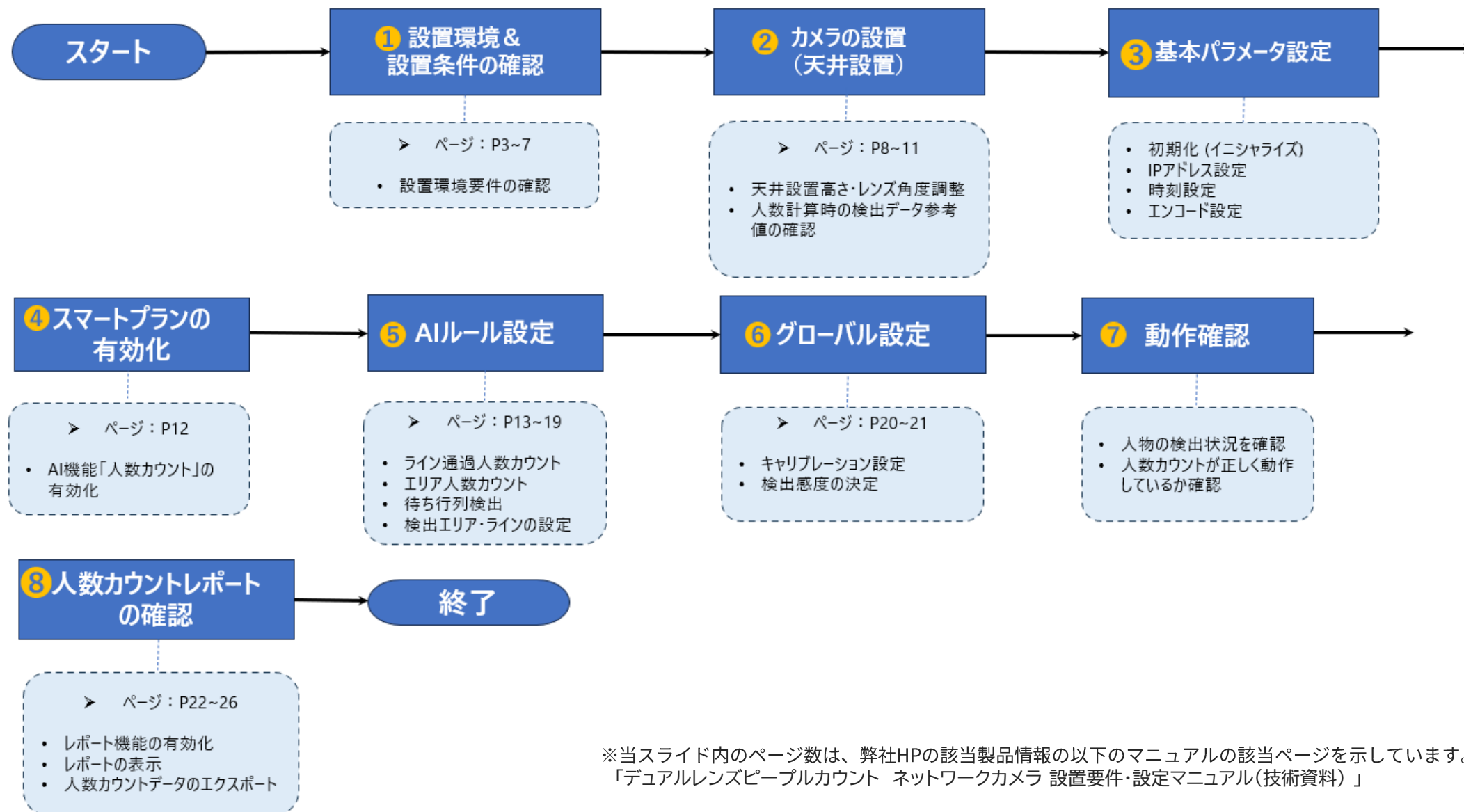


設置環境要件・検出有効範囲

04



設定フロー・グローバル設定機能紹介



※当スライド内のページ数は、弊社HPの該当製品情報の以下のマニュアルの該当ページを示しています。
「デュアルレンズピープルカウント ネットワークカメラ 設置要件・設定マニュアル(技術資料)」

キャリブレーション

カメラの設置高さや設置角度を設定し、AIが映像内の人物を正しく検出するための基準を調整する機能です。設置環境に合わせて適切に設定することで、
人数カウントの検出精度を安定させ、誤検出やカウント漏れの低減につながります。

人数カウント機能を使用する前に、設置環境に応じたキャリブレーションを実施してください。



高度自動適応

カメラの設置高さおよび取付角度に基づいて、
検知に最適な画角(FOV)を自動的に調整する補助機能です。

→検知対象(人物)が映像内で占める有効画素数の割合を増やすことで、
ステレオ解析アルゴリズムの検知精度を向上させます。

機能OFF



10m先60ピクセル(頭～肩まで)

機能ON



10m先80ピクセル(頭～肩まで)